

第55回四国中学校総合体育大会最終日は6日、4県で15競技が行われ、バスケットボール男子の石井、体操女子の南部が初優勝を飾った。このほか、準優勝のバスケットボール女子の石井、ソフトボール女子の阿波・三加茂・岩倉、卓球男子の城西、テニス男子の鳴教大付が全国中学校体育大会（全中、テニスは全国中学生選手権）の出場権を獲得した。

四国中学校 総合体育大会

最終日

既に全中出場権を得ている剣道は県勢が男女とも制し、男子は徳島が2年連続3度目、女子是那賀川が9年ぶり8度目の栄冠に輝いた。軟式野球決勝の阿南対明德義塾は0-0の二回裏に降雨サスペンデッドゲームとなり、8日午後1時から高知県春野球場で再開される。（個人の記録は決勝、1位と徳島県関係の準々決勝以上、または8位以内）

那賀川女子9年ぶりV

徳島男子は2年連続

剣道

【男子】団体予選リーグA①那賀川2勝1敗②城辺（愛媛）2勝1敗③山田（香川）2勝1敗④明德義塾（高知）3敗11〜3位は勝者数による▽B①徳島3勝②今治南（愛媛）1勝2敗③龍雲（香川）1勝2敗④野市（高知）1勝

2敗11〜4位は総本数による。各組1、2位が決勝トーナメントへ。

▽決勝トーナメント1回戦 那賀川4-1今治南、徳島3-0城

▽決勝 徳島4-0那賀川。徳島は2年連続3度目の優勝。個人準々決勝 大空（徳島）1-0宮本（愛媛）、道後（中平）1-0松本（愛媛）、児島（大空）1-0松本（愛媛）、児島（大空）1-0松本（愛媛）

【女子】団体予選リーグA①高知3勝1敗②龍雲2勝1敗③那賀川3勝2敗④野市（高知）3敗

各組1、2位が決勝トーナメントへ。▽決勝トーナメント1回戦 那賀川3-1龍雲▽決勝 那賀川3-0高知。那賀川は9年ぶり8度目の優勝。

2年生3人奮闘

那賀川

2-0で副将戦に入った那賀川。岡崎が間合いを詰めてコテを打ち抜いた。決勝で貴重な一本を奪い、「みんなの思いに応えることができた」と控えめに喜んだ。

3年の中堅福田と大将の飯田主将が引き分けたものの、岡崎ら2年生3人が奮闘。先鋒（せんぼう）の河野が「試合でほとんど使ったことがない」という逆下ウで意表を突いて先取し、続く次鋒の山田も延長の末に白星を稼ぎ、優位にした。

対戦相手の高知には3月の四国新人大会の準決勝で敗れている。岡崎は前回、一本負けしていただけに「チームに貢献できてよかった」と雪辱を喜んだ。

2年連続で16強入りしている全中に向け、飯田主将は「全員で力を合わせ、思い切った勝負をしたい」と意気込んだ。

女子決勝 那賀川対高知 副将戦で優勝を決めた那賀川の岡崎



（須見千次郎）

県勢対決を制す

〇〇：県勢対決となった男子決勝は、徳島が圧倒し、3人で勝負を決めた。気迫あふれる竹刀さばきで先鋒の大空主将が先勝し、次鋒の松本尊が延長の末に鮮やかなメンを奪って2-0に。決勝までの4試合で1本も落とさず、全勝している中堅の岩原は相手を守りに入っていると感じ「相打ち覚悟でリスクを冒して勝負した」と振り返る。力強いコテ、メンで3勝目を挙げ、2連覇に導いた。

昨年の全中は予選リーグで敗退。今年は4強入り

りを目標に掲げ、連日3時間及ぶ練習で追い込んでいる。大空主将は「四国2連覇は自信を持って戦った成果。全中で仲間を信じて勝ち抜きたい」と決意を新たにしていた。